

# 住信SBIネット銀行のIT戦略

---

---

## 住信SBIネット銀行のIT戦略

1. 住信SBIネット銀行の概要
2. システム概要
3. ITを駆使した独自サービス
4. 今後のIT戦略

# 1. 住信SBIネット銀行の概要

# 1.住信SBIネット銀行の概要 ①会社概要

■会社名：住信SBIネット銀行株式会社  
(英名：SBI Sumishin Net Bank, L t d.)

■代表者：  
代表取締役会長 藤田 万之葉  
代表取締役社長 円山 法昭

■本社：東京都港区六本木1丁目6番1号  
泉ガーデンタワー18階

■資本金：310億円

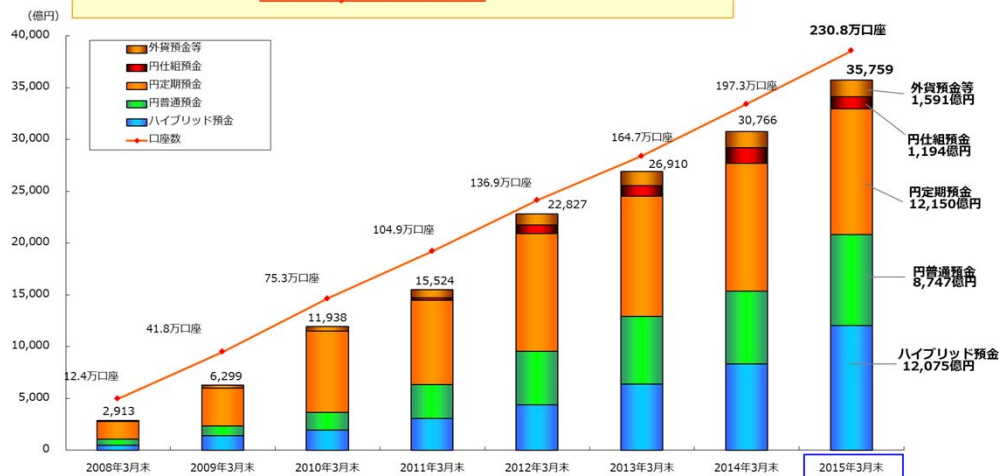
■営業開始日：2007年9月24日

■従業員数：294名  
(執行役員、受入出向者は含み、派遣社員は除く 2015年3月末時点)

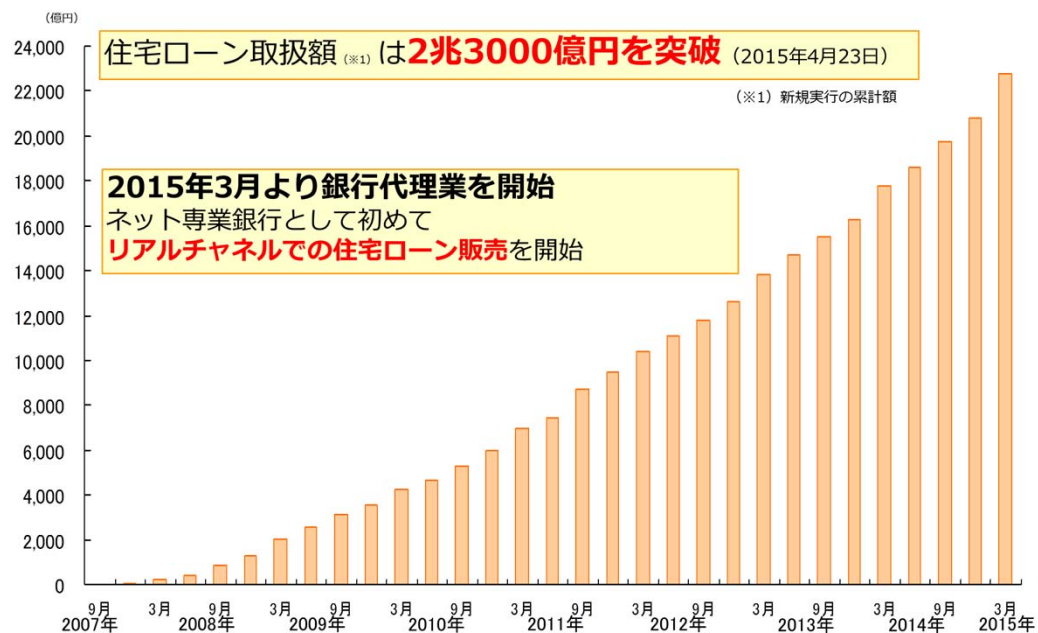
■株主構成：  
SBIホールディングス株式会社 50%  
三井住友信託銀行株式会社 50%

■銀行代理業者：  
株式会社SBI証券  
SBIマネープラザ株式会社  
アルヒ株式会社

口座数： **230万口座**  
預金残高： **3兆5,760億円** (2015年3月末)



2015年3月末 SBIハイブリッド預金の残高が**1兆2000億円**を突破



# 1.住信SBIネット銀行の概要 ②商品・サービス

- ◎ どこよりも使いやすく、魅力ある商品・サービスを24時間365日提供する**インターネットフルバンキング**。
- ◎ SBI証券（銀行代理店）とシームレスに連携し画期的な**銀行・証券融合**の商品・サービスを提供。

## 商品ラインナップ

### 預金・資産運用（調達）

利便性が高く好条件な運用商品

- 円普通預金、円定期預金
- 外貨普通預金、外貨定期預金
- 目的別口座
- FX（外国為替保証金取引）
- 投資信託・債券（証券仲介業務）
- 仕組預金
- 純金積立

### 融資（運用）

利便性が高く好条件なローン商品

- 住宅ローン
- カードローン
- 目的ローン
- 不動産担保ローン
- オートローン
- 太陽光ローン

### 決済

幅広い好条件な決済サービス

#### 個人向サービス

- 好条件なATM利用手数料
- 好条件な振込手数料
- 公営競技決済

#### 法人向サービス

- 即時決済
- 口座振替
- 総合振込

## SBIグループ協業サービス

住信SBIネット銀行

SBI Sumishin Net Bank

グループ協業

### SBI証券

- SBI証券連携サービス
- かんたん銀行口座開設
- SBIハイブリッド預金

### SBI損保

- 自動車保険・がん保険

SBIカード

完全子会社化を予定

- クレジットカード

SBI マネープラザ

ARUHI

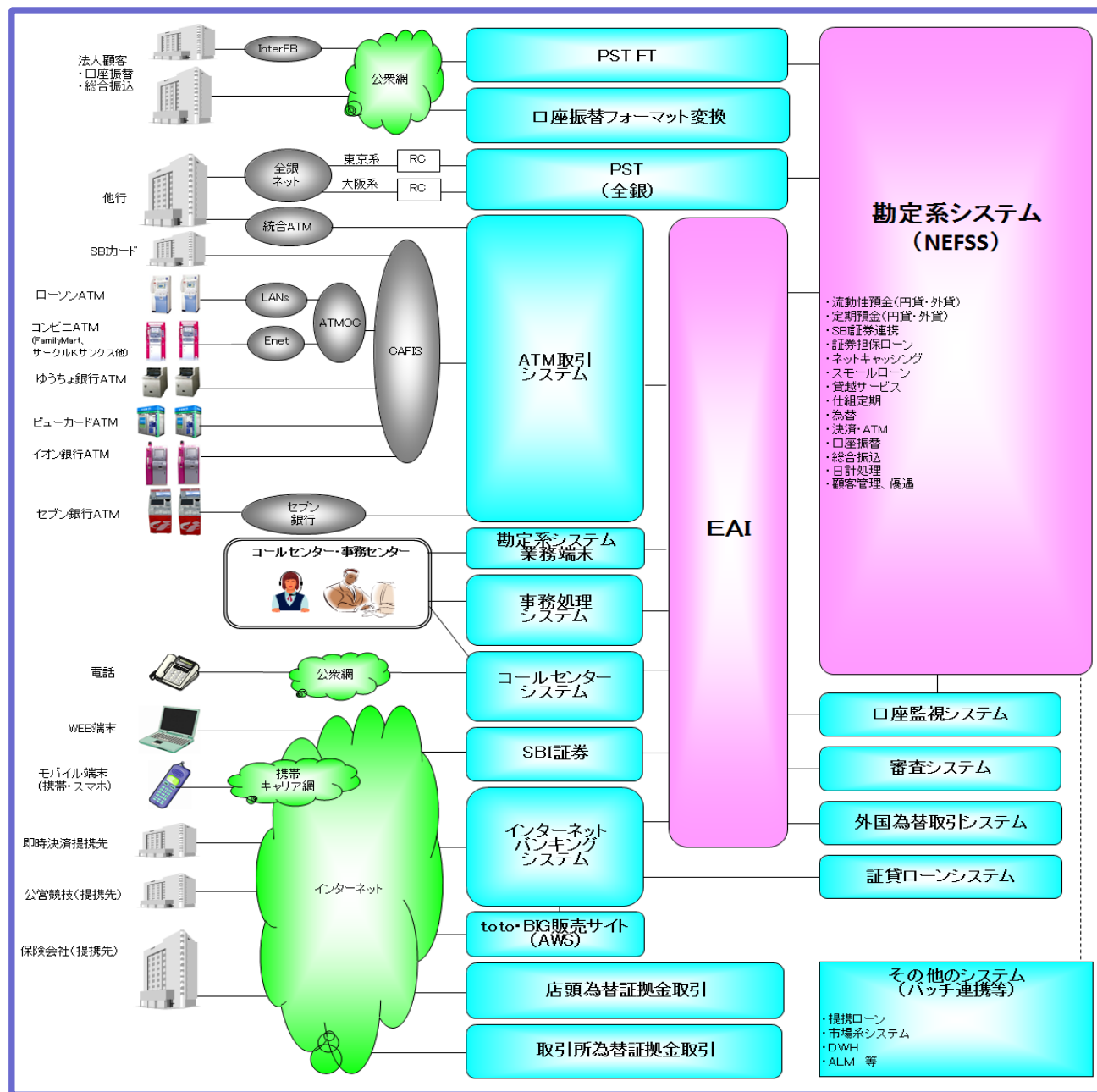
(SBI出資率10%)

- 銀行代理業

## 2. システム概要

## 2. システム概要

- ✓ IBMによるオープン系/  
JAVAの勘定系システム  
(NEFSS)
- ✓ オンライン連携する各システム  
の間をIBMのEAI  
(Enterprise Application  
Integration)で疎結合にし  
たビルトイン型の構成
- ✓ 各システムは、既存パッケージ  
のカスタマイズが中心
- ✓ インターネットバンキングシ  
ステムは、SBI証券のシス  
テムの基盤をベースに自社開発



### 3. ITを駆使した独自サービス

- ① 銀証連携 – SBIハイブリッド預金
- ② 多彩な外貨注文機能
- ③ スマート認証（二経路認証）



# 3. ITを駆使した独自サービス ①銀証連携 – SBIハイブリッド預金

## ハイブリッド預金導入の目的

- MRF（他社グループ運用商品）もしくは預り金（分別保管）となっている証券口座の待機資金を銀行での運用へ
- 運用利回り等、優位性を持たせることで証券=銀行顧客利便性向上
- 安定した銀行の資金調達
- 「貯蓄から投資」の仕組みの差別化

→2015年6月末 ハイブリッド預金量1兆3千億円超

## 証券取引に銀行口座を直接利用した場合の課題

- ①銀行口座を参照することで注文の性能が劣化（証券の課題）
- ②銀行の障害により証券取引が不能になる（証券の課題）
- ③証券の大量取引を処理するための巨大インフラが必要（銀行の課題）

SBI証券の顧客残高画面

### 精算予定一覧表

受渡日	15/06/26 (当日)	(円)
現金残高等	0	
入金額	0	
支払額	0	
未約定買注文額	0	
出金・振替指示額	0	
受取額	0	
受取額(日計り分)	0	
SBIハイブリッド預金精算額	0	
残高(当社)	0	
残高(SBIハイブリッド預金)	200,000	
(SBIハイブリッド預金拘束額)	68,550	
必要精算額	-68,550	
買付余力	131,450	

残高・出金可能額

証券内で処理が完結するよう、SBI証券のDBへ配置

出金可能額は銀行から証券へ  
問い合わせ

住信SBIネット銀行の顧客残高画面

### SBIハイブリッド預金

	残高	出金可能額	入出金予定額	
SBIハイブリッド預金	200,000円	131,450円	0円	<a href="#">明細</a> <a href="#">振替</a>

※SBI証券でのお取引内容によって、SBIハイブリッド預金の出金可能額がマイナスとなる場合がございます。  
拘束金額はSBI証券WEBサイト上の口座管理>買付余力画面にてご確認ください。

### 円定期預金

	残高			
代表口座-円定期	1,000円			<a href="#">残高照会</a> <a href="#">取引履歴</a>
合計	1,000円			

残高・利息計算

金利計算・付利は住信SBIネット銀行で実施

**SBI証券側にハイブリッド預金の  
マスターを配備することで課題を解決！**

### 3. ITを駆使した独自サービス ②多彩な外貨注文機能

#### それまでの外貨預金

- 1日二回程度のレート更新による店頭取引が中心  
→ 相場変動によるリスク
- 1 USDにつき 1 円程度の高い手数料
- 当時台頭してきたFX会社に大きく劣後



#### 住信SBIネット銀行の外貨預金

- 三井住友信託銀行をカウンターパートとしたリアルタイム取引の実現
- STP (Straight Through Processing) による大幅な手数料の削減
- FX会社を開発パートナーとし、FX並みの注文機能の実現

外国為替市場

複数行からレート供給

三井住友信託銀行

最優良レート提示

住信SBIネット銀行

注文約定

顧客

#### リアルタイム注文

以下の内容を確認のうえ、「確定」ボタンをクリックしてください。

通貨	円 - 米ドル	残り時間	8秒
買付レート	123.76 (2015/06/25 14:46:41) <a href="#">更新</a>		

[確定](#)

#### 多彩な注文形態

注文方法	<input type="radio"/> リアルタイム <input checked="" type="radio"/> 指値注文 <input type="radio"/> 複合指値(IFD) <input type="radio"/> 複合指値(OCC)
指値・逆指値	指値 <input type="text"/>
注文レート	1USD = <input type="text"/> . <input type="text"/> 円
注文金額	<input checked="" type="radio"/> 円で指定 <input type="text"/> 円 <input type="radio"/> 米ドルで指定 <input type="text"/> . <input type="text"/> 米ドル <a href="#">換算金額照会</a>
有効期限	2015年6月26日 <input type="text"/> 06 <input type="text"/> 時

#### 豊富な取り扱い通貨

取扱通貨	
対円通貨	米ドル
	ユーロ
	英ポンド
	豪ドル
	NZドル
	カナダドル
	スイスフラン
	香港ドル
	南アランド
対米ドル通貨	ユーロ
	英ポンド
	豪ドル
	NZドル
	カナダドル
	スイスフラン
	香港ドル

#### 外貨預金専用のスマホアプリ

通貨	売却	買付	売却	買付
米ドル	122.49	122.67	192.41	193.21
英ポンド	137.33	137.63	93.67	94.47

### 3. ITを駆使した独自サービス ③スマート認証（二経路認証）

#### ワンタイムパスワードの課題

- 常に携帯する必要がある
- MITB (Man In The Browser)等の攻撃には万全ではない
- 物理的な管理負荷が非常に高い
- トランザクション認証はオペレーションが煩雑



#### スマート認証で実現

- 常に携帯するスマートフォンを利用
- 端末ごとに暗号化した通信でスマホに表示される取引を保証
- ソフトウェアの提供であるため管理が容易
- 表示された取引を確認しタップのみで完了

①端末固有に暗号化した取引データを送信

スマート認証システム

③送信された端末の認証

※端末認証等のセキュリティは、マレーシア本社のベンチャー企業の技術を採用

②受信した取引内容は当該端末でのみ表示可能。MITB等で取引が改竄されている場合は、改竄された取引が表示されるため、顧客は気付いて拒否。

振込依頼人名	スミシン タロウ
出金口座	代表口座 円普通 1013968 [ 現在残高 : 912,366 円 / 出金可能額 : 912,366 円 ]
振込先口座	住信SBIネット銀行 イチゴ支店 普通 1037223
受取人名	カク ライ
振込金額	9,999 円
振込手数料	0 円
合計出金金額	9,999 円
振込指定日	2015年7月2日
メモ	
振込手数料無料回数	今月あと3回

WEB取引パスワード

認証番号表

スマート認証

振込依頼人名: スミシン タロウ  
出金口座: 代表口座 円普通 1013968 [ 現在残高 : 912,366 円 / 出金可能額 : 912,366 円 ]  
振込先口座: 住信SBIネット銀行 イチゴ支店 普通 1037223  
受取人名: カク ライ  
振込金額: 9,999 円  
振込手数料: 0 円  
合計出金金額: 9,999 円  
振込指定日: 2015年7月2日  
メモ:

振込手数料無料回数: 今月あと3回

■取引番号

4 3 5 3 6 4

スマート認証

住信SBIネット銀行 スマート認証  
承認が必要な取引がありますので、ご確認ください。

あとで確認 今すぐ確認

振込  
取引番号 : 435364

振込先金融機関:  
住信SBIネット銀行

振込先支店:  
イチゴ支店

振込先口座:  
普通 1037223

受取人名:  
カク ライ

振込金額:  
9,999円

振込手数料:  
0円

合計出金金額:  
9,999円

キャンセル OK

## 4.今後のIT戦略

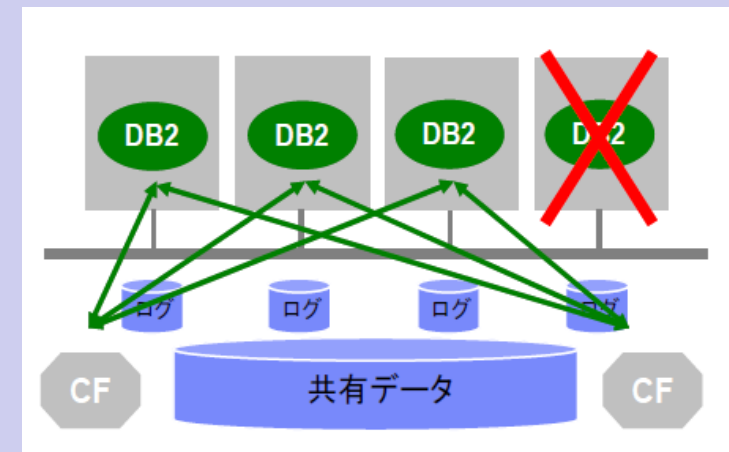
- ①高可用性と拡張性を両立した勘定系システムの導入
- ②EBMと統合顧客マスタの導入
- ③スマートフォンアプリのさらなる活用
- ④Fintechの取り組み

## 4. 今後のIT戦略 ①高可用性と拡張性を両立した勘定系システムの導入(1)

- 勘定系システムの基盤更改を実施中（2015年中に稼働予定）
- IBMのDB2 pureScale採用により高い可用性と拡張性を実現

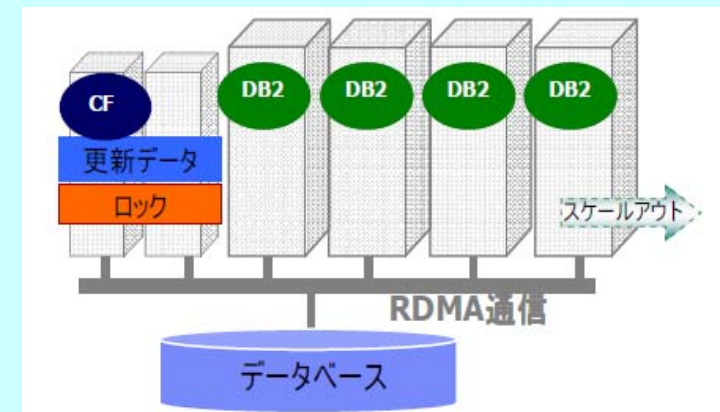
### 切替から切離しによる障害時の影響を極小化

- ✓ 4台のオンラインDBはActive-Active構成
- ✓ 障害発生時は、障害ノードを切り離し、稼働中の他のノードで処理を継続
- ✓ オンライン全面停止の回避／障害時の切離し（テイクオーバー）に伴うサービス停止時間を極小化



### スケールアウトによる拡張性の実現

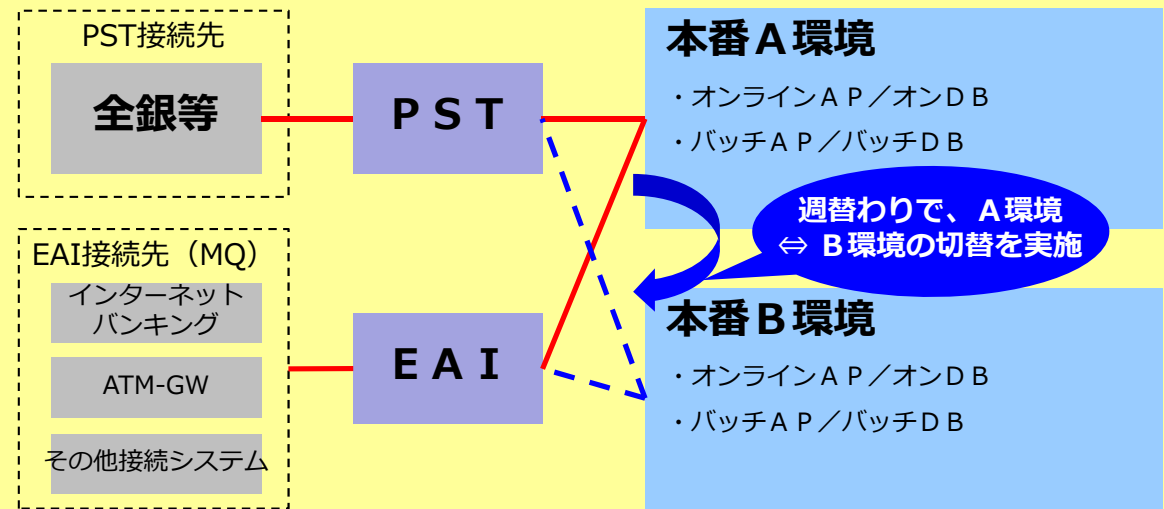
- ✓ 業容拡大等に伴うデータ量の増加等に合わせて、スケールアウト（水平拡張）によるキャパシティの追加確保が可能



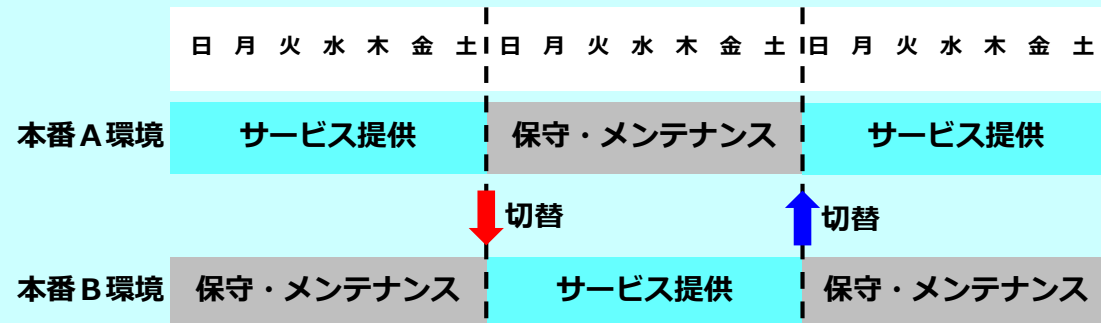
## 4. 今後のIT戦略 ①高可用性と拡張性を両立した勘定系システムの導入(2)

### ■ 本番環境2面の切替運用による24時間365日サービス提供

- ✓ EAI（およびPST）と勘定系システムの間で切替運用を行うことで、対外接続先やオンライン連携先の他システム側は、特段の考慮が不要

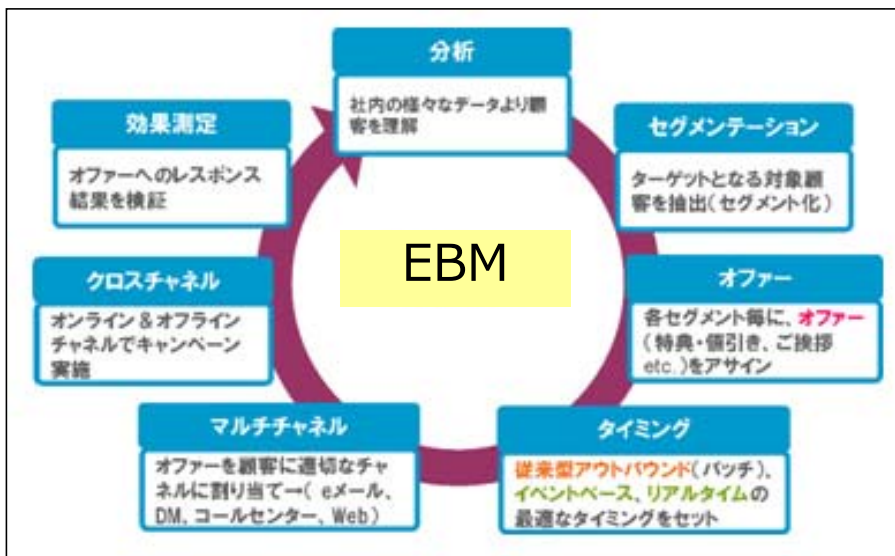


- ✓ サービス提供中でない側の環境では、保守・メンテナンスのための十分な時間の確保が可能



## 4. 今後のIT戦略 ②EBMと統合顧客マスタの導入

- EBM（イベントベースドマーケティング）の導入によって、マーケティングオートメーション（自動化）を実現。
- E-mailを使ったフォローアップ、電話によるアウトバウンド、タイムリーメールなど、現在、各イベントに合わせて定期的実施している業務を、システム化により ①**効率化（省力化）**  
→ ②**頻度の向上** → ③**効果の拡大** を目指す。



### 【Phase2：統合顧客マスタ】

EBMの基盤のDMを拡張し、**統合顧客マスタを構築**

### 【Phase1：マーケティング自動化】

- ①施策立案 → ②対象顧客抽出 →
- ③CP企画・メール作成 →
- ④配信までのリードタイムを短く！頻度多く！

	【Phase1】15年4月に終了 マーケティング自動化の基盤構築 (EBM導入)	【Phase2】現在進行中 顧客別取引・採算状況分析基盤の構築 (統合顧客マスタ)
ゴール(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査通知後のフォローアップによる<b>成約率向上</b></li> <li><b>休眠顧客再稼働</b>のためのフォローアップ</li> <li>満期到来顧客への<b>タイムリーな受け皿提供</b></li> <li>フォローアップ<b>事務負荷の大幅省力化</b></li> <li>フォローアップ<b>効果の「見える」化</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資金ニーズ、運用ニーズの高い顧客<b>特定</b></li> <li>メイン顧客化の<b>可能属性の特定</b></li> <li>メイン化プロモーション<b>パターン確立</b></li> </ul>
実現方法 実装範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>マーケティング用DM構築(簡易版)</li> <li>キャンペーン管理パッケージ導入</li> <li>EBMでのメール自動実行</li> <li>マルチステップメールによる新規銀行顧客の自動フォロー(※)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マーケティング用DMの作成(本格導入)</li> <li>分析環境を利用した顧客分析、マイニング</li> <li>効果検証レポートの整備</li> </ul>

※マルチステップメールとは？

例えば口座開設からの一定時間経過毎に、異なるメール（取引きをどんどん深めてもらう）を自動送信するプロセス。

「住信SBIネット銀行のご利用開始から●ヶ月が経過いたしました！いつもご利用ありがとうございます」について、異なるテーマを月毎に配信。

1ヶ月目「ハイブリッド預金はご利用ですか？」 → 2ヶ月目「口座振替をご利用いただくと便利です！」 → 3ヶ月目「給与振込にもご利用いただけます！」

## 4. 今後のIT戦略 ③スマートフォンアプリのさらなる活用

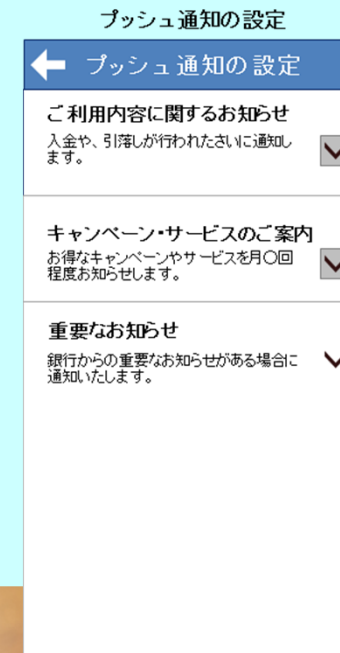
- 今後PCからスマホアプリへの急速なシフトを予測
- より一層インタラクティブな環境をベースにしたサービスが充実へ

安全に簡単にログイン、より銀行口座を身近な存在に！  
ウェアラブル端末への対応！

メールベースから通知機能などを活用した  
マーケティング/コミュニケーションの展開



重要なお知らせ  
残高  
直近3件の入出金明細を表示



iPhoneから情報を受取り、画面に表示

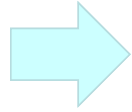
デビットカードや決済手段の多様化により、  
一層迅速な銀行口座へのアクセスが求められる。

EBMとの組み合わせによるよりきめ細やかな  
マーケティング、返済のお知らせなど個人情  
報のやりとりも可能に。



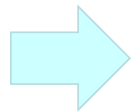
## 4. 今後のIT戦略 ④Fintechの取り組み

- SBIグループのベンチャーキャピタルであるSBIインベストメントが投資を積極化、グループ全体での提携推進体制を構築

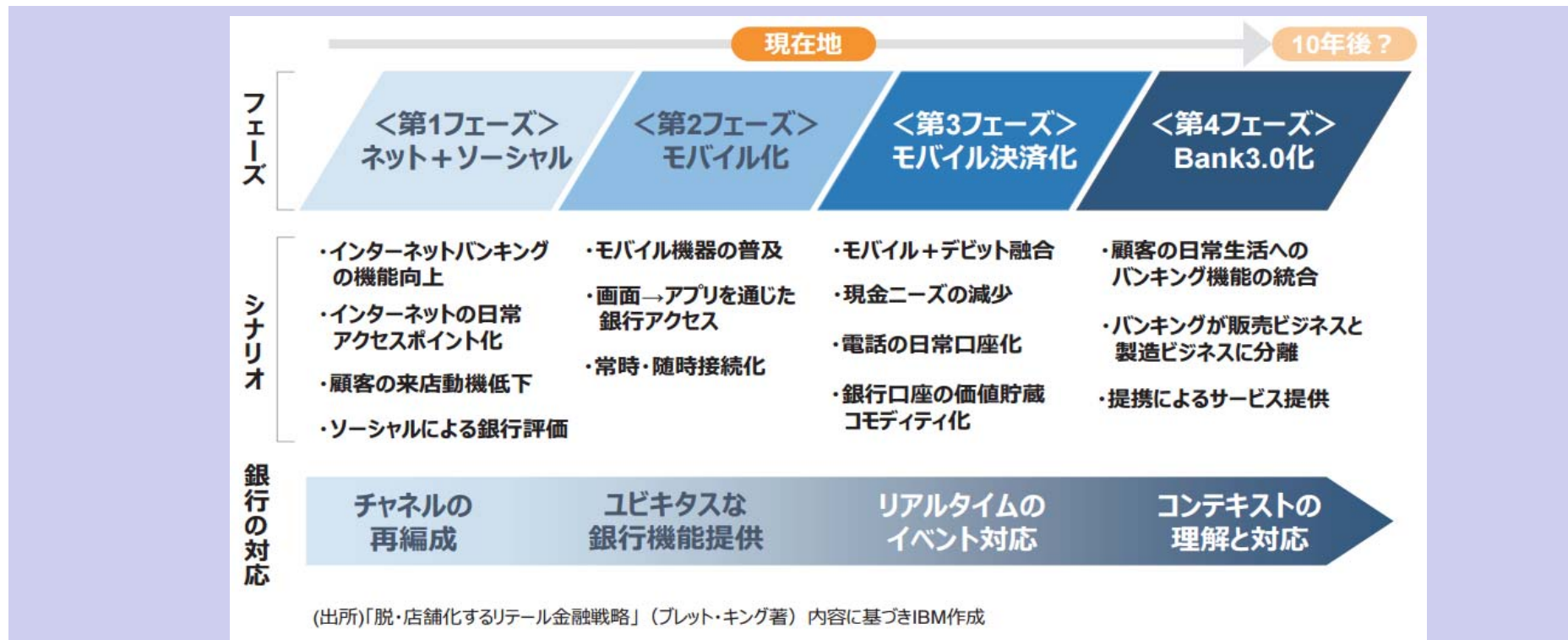


圧倒的顧客基盤を誇るIT企業等、異業種との競争激化に対抗するための仕組みの構築

- Bank3.0を見据え、ベンチャーを味方に付けた新技術・サービスの取込み



ビッグデータ、AI（人工知能）、セキュリティ等幅広いテクノロジーがFintechの対象



---

---

*<http://www.netbk.co.jp/>*

住信SBIネット銀行  SBI Sumishin Net Bank